

# 駅舎デザインコンセプトに関する要望書の検討について

---

令和3年8月3日

# 1. 要望書の検討に関する委員会での目標

- ・ 駅舎デザインコンセプトに関する要望書について既存新幹線の事例をみると、駅舎デザインコンセプト、駅舎デザインコンセプトの説明文書、駅舎デザインコンセプトの附帯意見が書かれているケースが大半。
- ・ 今年度の委員会では、昨年度決定した駅舎デザインコンセプトをベースに、駅舎デザインコンセプトの説明文書と駅舎デザインコンセプトの附帯意見の内容を検討・決定する。

時下ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。  
日頃は、敦賀市における新幹線整備の推進につきまして、格別の御高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、北陸新幹線の敦賀開業は、『鉄道と港のまち』を掲げる本市にとって、地域経済の再生及び地方創生の観点から、大きく明るい道が開かれた駅であります。

今後、新たに建設される新幹線敦賀駅舎につきましては、北陸新幹線で敦賀に降り立つ方々の玄関口として、また、敦賀市民にとっては街を象徴するシンボルとして、本市の将来の発展を見据える上で、非常に重要な建築物であると捉えております。

この認識のもと、新幹線駅舎のデザインコンセプト策定にあたり、市民及び各委員会から御意見を伺い、多くの方々に親しまれる駅舎となるよう検討を重ね、このたび、その成果を取りまとめました。

つきましては、今後の駅舎建設に向けて、要望するデザインコンセプト及び付帯意見について最大限反映していただきますようお願い申し上げます。

平成29年1月17日

鉄道建設・運輸施設整備支援機構  
鉄道建設本部 大阪支社  
支社長 藪沼慶正 殿

敦賀市長 洲上隆信

## 新幹線敦賀駅舎デザインコンセプト

### 空にうかぶ ~自然に囲まれ、港を望む駅~

#### <説明>

このコンセプトについては、新幹線敦賀駅舎の最大の特徴として、ホームが高い位置に建設される予定であることから、高さというインパクトのある駅舎を「空にうかぶ」という表現で強調し、また、大規模な建築物の威圧感を抑え、周辺との調和の取れた景観となるようお願いを込めています。

また、日本海に面し三方を山で囲まれた豊かな「自然」は、本市の重要な資源であることから、周囲の自然の景色に溶け込んだデザインにしてほしいという想いと、駅舎から望む「港」は杉原千景が発行した命のビザによって多くのユダヤ人が降り立った人道の港であるとともに、欧亜国際列車と繋がる港であることから、この歴史ある敦賀港への想いを汲んでいただきたいという願いを込め、このデザインコンセプトに決定しました。



#### <付帯意見>

新幹線駅舎に係る付帯意見として、次のとおり要望します。

- ・ 風景の邪魔にならず、かつ特徴的なデザインの駅舎
- ・ 敦賀駅交流施設オルパークの後ろに新幹線駅舎ができることへの配慮
- ・ 新幹線ホームの高さによる威圧感を抑えたデザイン
- ・ 新幹線ホームから市街地へ出るまでの連絡通路の活用（敦賀の港の歴史等を感じさせるような演出）
- ・ 敦賀をアピールできるような、コンコース（中央広場）のデザイン
- ・ 過ごしやすい快適で利用しやすい駅舎（夏は涼しく、冬は暖かく）
- ・ ホームや通路から敦賀の街を眺められる工夫（ガラスや透明パネルの活用）
- ・ 内装等には天然木材等の活用を検討（地域資源の活用）

市民の意見を最大限取り入れた新幹線駅舎となるよう、施設や機能について協議及び調整をお願いします。



## 北陸新幹線敦賀駅の要望書

(出典：敦賀市HP)

## 2. 今年度の検討内容・スケジュール

- ・ 駅舎デザインコンセプトに関する要望書の検討は、以下のスケジュールで行う。

### 第3回委員会（本日）

○ 駅舎デザインコンセプトの説明文書（素案）の検討

★ 今回の会議で、説明文書（素案）の記載内容について意見を頂きたい。

### 第4回委員会（9月開催予定）

○ 駅舎デザインコンセプトの説明文書（案）の検討

○ 駅舎デザインコンセプトの附帯意見（素案）の検討

☆ 事務局から提示する附帯意見（案）をたたき台として、要望書への記載内容を議論する。

### 第5回委員会（11月開催予定）

○ 駅舎デザインコンセプトの附帯意見（案）の検討・決定

○ 都市施設の検討結果の反映イメージを共有

今年度中に、鉄道・運輸機構へ要望書を提出

### 3. 駅舎デザインコンセプトの説明文書（案）について

#### ■ 駅舎デザインコンセプト ⇒令和2年度に決定

## 羊蹄の四季の恵み

～ふるさとと世界が出会う駅～

#### ■ 要望書に掲載する駅舎デザインコンセプトの説明文（素案）

羊蹄山は、豊かな自然に恵まれた羊蹄山麓地域の象徴であり、住民の心の拠り所ともいえる存在です。「羊蹄の四季の恵み」という言葉には、新たな駅舎づくりにあたって、四季ごとに豊かな表情を持つ自然と調和するような駅づくりを目指したいという願いを込めています。さらに、先人達が築き上げてきたこの地域特有の風土を「ふるさと」という言葉で、新幹線を利用して世界中から訪れる来訪客を「世界」という言葉でそれぞれ表現し、地域住民と来訪客の交わりによって新たな賑わいの拠点を生み出していきたいという願いを「ふるさとと世界が出会う駅」という言葉で表現しました。



（出典：倶知安町HP, 倶知安町観光地マスタープラン）

## 4. 要望書の構成案について

- ・ 要望書の構成案を以下に示す。なお、ページ数は暫定であるため、内容に応じて変更する。

表紙

P. 1 前書き

P. 2 駅舎デザインコンセプト（+説明文書含む）

P. 3 駅舎デザインコンセプトの附帯意見（駅舎に関する意見）

※附帯意見は、イメージが伝わるよう、文書+写真で記載する。

P. 4 駅舎デザインコンセプトの附帯意見（都市施設に関する意見）

※附帯意見は、イメージが伝わるよう、文書+写真で記載する。

※俱知安駅は、都市施設が駅舎デザインの一部となるので、都市施設に関する附帯意見も記載する。

P. 5 （参考資料）都市施設に導入する機能とその規模及び配置

※本委員会で議論する都市施設に関する検討結果を参考資料として掲載する。